【2020年度会員限定シンポジウム開催のお知らせ】

日時：2021年1月23日(土) 13時～17時

場所：オンライン(Zoom利用)

定員：300名

参加費：無料

<プログラム>

**セッション1**

**「M-GTAを通して学び続けるキャリアプロセス」**

**長山豊先生(金沢医科大学)**

これまでの研究プロセスとして、M-GTAを用いて修士論文・博士論文を作成し、分析結果を踏まえて科研のテーマを検討するなど、研究結果を関連付けて積み上げてきました。また、臨床の看護師から教員に方向転換するきっかけについても、この研究会での学びが影響しています。M-GTA研究会での発表や会員との交流を通して、私がどのように研究を進めてきたのか、どのように仕事と向き合ってきたのか、お伝えしたいと考えています。

コメント：佐川佳南枝先生(京都橘大学) 進行：阿部正子先生(名桜大学)

**セッション2**

**「自著を語るー『質的研究法M-GTA叢書1 精神・発達・視覚障害者の就労スキルをどう開発するか―就労移行支援施設(精神・発達)および職場(視覚)での支援を探る』」**

**竹下浩先生(筑波技術大学)**

どうすれば、障害者は働くスキルを発達、支援者（支援員や上司）はそれを支援できるのでしょうか。本書は、近年注目されている就労移行支援（精神・発達障害）と事務系職種（視覚障害）の調査データをM-GTAで分析し、効果的な支援への示唆を提示しています。M-GTAの目的である「実践での応用」をどう担保するか、筆者なりの工夫も開示しました。就労移行支援の実際、視覚障害者の就労、スキルの心理学については判り易くコラムで説明しました。経営学（英語）や心理学の読者向けのM-GTAについての解説もあります。

コメント：木下康仁先生(聖路加国際大学) 進行：林葉子先生(JH産業医科学研究所)